サポート情報記事

Discussions ソリューション概要

2026 © Vitextra SIA. 無断転載を禁じます。

免責事項

本免責事項の適用上、次のとおり定義します。

- **会社** (本免責事項では「当社」と表記します) とは、Vitextra SIA (Matīsa iela 61-25, Rīga, LV-1009, Latvia) を指します。
- **本ドキュメント**とは、ナレッジベースの記事を指します。
- **お客様**とは、本ドキュメントにアクセスする個人、または該当する場合は、その個人が本ドキュメントにアクセスまたは使用する際に代理となっている会社その他の法人を指します。
- **本 Web サイト**とは、https://vitextra.com からアクセスできる Vitextra を指します。

免責事項

本ドキュメントに記載されている情報は、一般的な情報提供のみを目的としています。

当社は、本ドキュメントの内容における誤りや脱漏について、一切責任を負いません。

いかなる場合も、契約上の訴訟、過失、その他の不法行為上の訴訟であるかを問わず、本ドキュメントの内容の使用に起因または関連して生じる、特別損害、直接損害、間接損害、結果的損害、付随的損害、またはその他一切の損害について、当社は責任を負いません。当社は、事前の通知なく、いつでも本ドキュメントの内容に追加、削除、または変更を行う権利を留保します。

誤りおよび脱漏に関する免責事項

本ドキュメントに記載されている情報は、関心のある事項に関する一般的な指針を示すことのみを目的としています。そのため、本ドキュメントの内容を最新かつ正確に保つために当社があらゆる予防措置を講じている場合でも、誤りが生じる可能性があります。また、法律、規則、規制は変化するため、本ドキュメントに記載されている情報に遅れ、脱漏、または不正確な点が含まれる場合があります。

当社は、誤りや脱漏、またはこの情報の使用によって得られた結果について、責任を負いません。

フェアユースに関する免責事項

当社は、著作権者から明示的な許可を得ていない著作物を使用する場合があります。当社は、批評、論評、ニュース報道、教育、学術研究、または調査の目的で、そのような資料を提供しています。

当社は、これが、米国著作権法第 107 条に規定されている、当該著作物の「フェアユース」にあたると考えています。

お客様が、フェアユースの範囲を超えて、ご自身の目的で本ドキュメントの著作物を使用することを希望される場合は、著作権者から許可を得る必要があります。

「自己責任での使用」に関する免責事項

本ドキュメントのすべての情報は、完全性、正確性、適時性、またはこの情報の使用によって得られる結果について何ら保証することなく、また、性能、商品性、特定目的への適合性に関する保証を含むがこれらに限定されない、明示または黙示を問わずいかなる種類の保証もなく、「現状のまま」提供されます。

当社は、本ドキュメントに記載されている情報に依拠して行われた判断や措置、または結果的損害、特別損害、もしくはこれらに類する損害について、たとえそのような損害の可能性について知らされていた場合でも、お客様またはその他の者に対して責任を負いません。

お問い合わせ

本免責事項についてご不明な点がある場合は、メール (support@vitextra.com) でお問い合わせください。

目次

Discussions とは 4

2 つの **Web** パーツ 5

ボード、トピック、返信 5

トピックの検索**:** ビュー、カテゴリ、検索 7

投稿の作成**:** リッチ テキスト、画像、添付ファイル、メンション 7

フォローと通知 7

モデレーション 8

従来の **Discussion Board** のインポート 8

データの保存場所 9

アクセス許可の概要 9

ライセンス 10

システム要件 10

用語 12

Discussions とは

Vitextra Discussions は、**SharePoint** サイトの中で動作するディスカッション ボード兼 Q&A フォーラムです。従来の SharePoint リスト Discussion Board に代わる、モダン ページ向けのフォーラムを提供します。Discussions は、チーム サイトやコミュニケーション サイトの任意のページにモダンなボードを配置し、同じボードを **Microsoft Teams** のタブとして開きます。

この製品は **SharePoint Framework (SPFx)** 上に構築されています。すべてのボード、トピック、返信、いいね、サブスクリプションは、お客様自身のサイト上の通常の SharePoint リストに保存されます。ディスカッションの内容は外部サービスに送信されません。ライセンス確認と利用状況のテレメトリでは技術的な識別子を Vitextra に送信します (下記 KB10411 を参照)。アクセスはサイトのアクセス許可によって制御されます。サイトを閲覧できるユーザーはボードを閲覧でき、投稿権限を持つユーザーは投稿でき、サイトの所有者がモデレートします。



SharePoint ページ上の Discussions Web パーツ

Discussions は 3 つの考え方に基づいています。

- ボードはサイトからすべてを継承する - アクセス許可、ゲスト、保持ポリシーとコンプライアンス ポリシー、検索範囲、動作するクラウドを継承します。独自の

ユーザー　ディレクトリ、独自のロール　モデル、独自のストレージはありません。

- **チャットではなく、本物のスレッド** - 返信は親返信のパスが 255 文字までの範囲で入れ子にでき、質問にはベスト　アンサーが付き、モデレーターはトピックをピン留め、おすすめ設定、ロックできます。
- **従来のボードからの移行経路** - 組み込みのインポーターが、従来の Discussion Board リストからトピック、返信、ベスト アンサー、いいね、添付ファイルをコピーし、返信の階層を再構築します。

2 つの Web パーツ

このソリューションには 2 つの Web パーツが含まれています。

Web パーツ	表示内容	動作場所
ディスカッション	1 つのボード: **ビュー**、カテゴリ、検索、ページングを備えたトピック一覧、返信ツリー付きのトピック、新規トピック フォーム、サイトの所有者向けのモデレーション キューと従来ボードのインポーター。	SharePoint ページ、SharePoint フルページ アプリ、Microsoft Teams チャネル タブ、Teams 個人用アプリ
Discussions Activity	サイトのすべてのボード (または 1 つのボード) の最新トピックと、ボード ページへのリンク。	SharePoint ページ、Microsoft Teams チャネル タブ

どちらの Web パーツも Web パーツ ツールボックスの **Communication and collaboration** グループから追加でき、セクションの背景とサイトのテーマに対応し、サイトのフォントに従います。Discussions Web パーツはセクションの全幅レイアウトにも対応しています。

ボード、トピック、返信

ボードはページに配置する単位です。例: *IT Help Desk*、*人事への質問*、*コース*

101。1 つのサイトに必要なだけボードを作成でき、各ボードには独自の**モード**があります。

- **ディスカッションのみ** - すべてのトピックがディスカッションになります。*未回答* ビューと *回答済み* ビューは非表示になります。
- **質問と回答のみ** - すべてのトピックが、ベスト アンサーを受け取れる質問になります。
- **ディスカッションと質問** - トピックの作成時に作成者が種類を選びます。これが既定のモードです。

ボードには、作成者が選択する**カテゴリ**の一覧 (1 行に 1 つ) と、新しい投稿にモデレーターの承認を必須にするスイッチも設定できます。

トピックには、タイトル、リッチ　　テキストの本文、省略可能なカテゴリ、種類 (*ディスカッション* または *質問*) があります。閲覧者には、作成者、最終アクティビティ、返信数、表示回数が表示されます。**返信**はツリーを形成します。トピックにも任意の返信にも返信でき、スレッドは入れ子で表示されます。トピックと返信には「いいね」を付けることができ、作成者が編集でき、モデレーターに報告できます。



ベスト アンサーと入れ子の返信がある質問

質問トピックでは、質問の作成者またはモデレーターが最上位の返信の **回答としてマーク** をクリックします。その返信は **承認された回答** として先頭に表示され、

トピックは *未回答* ビューから *回答済み* ビューに移動します。マークは **回答マークを解除** で解除できます。

トピックの検索: ビュー、カテゴリ、検索

トピック一覧には **最近**、**未回答**、**回答済み**、**おすすめ**、**自分のトピック** の 5 つのビューがあり、ページの編集者が既定で開くビューを選びます。ピン留めされたトピックはすべてのビューで先頭に固定され、その他のトピックは最終アクティビティ順に並びます。カテゴリのドロップダウンで一覧を絞り込み、検索ボックスはサーバー側でトピックのタイトルを検索します。トピックは 5 から 100 件ずつページ単位で読み込まれ、**さらに読み込む** ボタンで次のページを取得します。

各トピックには固有のアドレスがあります。トピックを開くと Web パーツがページの URL に `?topic=ID` を追加するため、ブラウザーからリンクをコピーして共有できます。Discussions Activity Web パーツも同じリンクを使ってボード ページ上でトピックを開きます。

投稿の作成: リッチ テキスト、画像、添付ファイル、メンション

トピックと返信は、太字、斜体、下線、取り消し線、箇条書きと番号付きリスト、引用、コード ブロック、リンク、インライン画像に対応したリッチ テキスト エディターで作成します。画像は貼り付け、ドロップ、またはファイルから挿入でき、サイトの **ディスカッション アセット** ライブラリにアップロードされます。1 つの画像は最大 10 MB です。すべての投稿は、保存前と表示前に許可リスト方式のサニタイザーを通過します。

ファイルは投稿前でも後でもトピックや返信に添付でき、リスト アイテムの添付ファイルとして保存されます。`@` を入力するとサイトのユーザーを対象にしたユーザー選択が開き、メンションは投稿内にリンクとして表示され、通知用に **メンション** 列に記録されます。

フォローと通知

ボードと各トピックにある **フォロー** ボタンで、**即時**、**毎日のダイジェスト**、**毎週のダイジェスト** の 3 つの頻度のいずれかでサブスクリプションを作成します。作成者は自分のトピックを自動的にフォローします。サブスクリプションは **ディス**

カッション購読 リストに保存されます。

メモ

Web パーツはサブスクリプションとメンションを保持しますが、自身ではメールを送信しません。配信は、サブスクリプション リストとトピック・投稿リストを読み取る **Power Automate** フローが行います。このフローの契約は KB10414. Discussions の通知のしくみ: サブスクリプション、メンション、Power Automate で説明しています。*Mail.Send* などの **Microsoft Graph** アクセス許可は要求されません。

モデレーション

サイトで**リストの管理** (Manage Lists) アクセス許可を持つユーザー (既定ではサイトの所有者) がモデレーターです。モデレーターはトピックのピン留め、おすすめ設定、ロック、他のユーザーの投稿の編集と削除ができ、**モデレーション** 画面を開くことができます。この画面には、承認待ちのトピックと返信、およびメンバーが報告したトピックと返信が、**承認**、**拒否**、**報告を却下**、**削除** の操作とともに一覧表示されます。

ボードで **新しい投稿の承認が必要** が有効な場合、メンバーのトピックと返信は *承認待ち* の状態で作成されます。メンバーには承認済みのアイテムと自分のアイテムが表示され、モデレーターには保留中および却下されたアイテムを含むすべてが表示されます。

従来の Discussion Board のインポート

サイトの所有者は、編集モードの Web パーツから **クラシック掲示板をインポート** を開き、このサイトまたはテナント内の別のサイトにある従来の Discussion Board リストを選択し、ドライ ランの概要を確認してから、トピック、返信、ベスト アンサー、いいね、添付ファイルを現在のボードにインポートできます。返信の階層は再構築され、平坦化されたボードで親を失った返信は、そのトピックの最上位の返信になります。インポートされたアイテムはレガシー ID を保持するため、重複なくインポートを再実行できます。KB10417. クラシックの SharePoint ディスカッション掲示板を Discussions にインポートする方法 を参照してください。

データの保存場所

初回使用時に、Discussions Web パーツはサイト レベルのリストを 4 つとライブラリを 1 つ作成します。**ディスカッション掲示板**、**ディスカッショントピック**、**ディスカッション投稿**、**ディスカッション購読**、およびドキュメント ライブラリ **ディスカッションアセット** です。サイトのすべてのボードがこれらのリストを共有します。Web パーツは固定の列 ID でリストを認識するため、リストの名前は変更できます。すべてのカスタム列は `Vtx` プレフィックスで始まります。すべてのリストでバージョン管理が有効になっており、リストは**サイト コンテンツ**に表示されます。管理者は適用する保持ポリシーとコンプライアンス ポリシーを構成し、確認する必要があります。サイトの秘密度ラベルがコンテンツに自動的に付くわけではありません。 Microsoft Learn.

警告

リストの作成には、サイトの所有者が持つ**リストの管理**アクセス許可が必要です。このアクセス許可を持たないメンバーは、サイトの所有者がボードを作成した後にボードを使用できますが、サイトで最初のボードをセットアップすることはできません。ディスカッションの内容はテナント内に保存され、Microsoft Graph API のアクセス許可を承認する必要もありません。KB10411. Discussions がデータを保存する場所: リスト、列、プライバシー と KB10413. Discussions の API アクセス許可と管理者の同意 を参照してください。

アクセス許可の概要

サイトのアクセス許可	ボードでできること
閲覧 (閲覧者、読み取り専用のゲスト)	ボードを開く、トピックと返信を読む、ビュー、カテゴリ、検索を使う
投稿 (アイテムの追加、編集、削除) または編集 (メンバー、メンバー権限を持つゲスト)	上記すべてに加えて、トピックの作成、返信、いいね、フォロー、ファイルの添付、投稿の報告、自分の投稿の編集と削除
リストの管理 (サイトの所有者)	上記すべてに加えて、承認と却下、ピン留め、おすすめ設定、ロック、任意

サイトのアクセス許可	ボードでできること
	の投稿の編集と削除、ボードの作成、インポーターの実行

詳細は KB10408. Discussions のアクセス許可: 閲覧、投稿、モデレートできるのは誰か を参照してください。

ライセンス

Discussions は、全機能が使える **14 日間の試用版**として始まります。試用期間が終了すると、サブスクリプションがアクティブ化されるまで、Web パーツはボードの代わりにライセンス メッセージを表示します。リストとその内容はサイトに残ります。サブスクリプションは、ユーザー単位ではなくテナント単位の定額の **Standard** プランと **Plus** プランとして提供され、Web パーツのプロパティ ウィンドウの **情報** グループでアクティブ化します。

システム要件

プラットフォーム	**SharePoint Online (Microsoft 365)**、モダンなチーム サイトとコミュニケーション サイト
クライアント	SharePoint のモダン ページとフルページ アプリ、Microsoft Teams (チャネル タブ。Discussions は個人用アプリとしても利用可)
データの保存	お客様自身のサイト上の 4 つのリストと 1 つのドキュメント ライブラリ
インストール	テナントまたはサイト コレクションのアプリ カタログ経由の SPFx パッケージ (.sppkg)
API アクセス許可	不要。Web パーツは現在のユーザーのコンテキストで SharePoint REST と CSOM を使用

インターフェイスの言語	バージョン 26.11.4 では英語、ロシア語、ラトビア語、ドイツ語、フランス語、日本語、オランダ語、スペイン語など
クラシック ページと SharePoint Server	非対応

ヒント

ソリューションの展開については KB10035. SharePoint Online に Vitextra 製品をインストールする方法 を参照してください。次に、KB10391. Discussions Web パーツの追加と構成方法 に従って Web パーツをページに追加し、KB10392. 最初のボードの作成: モード、カテゴリ、承認 でボードをセットアップし、KB10393. Discussions を Microsoft Teams に追加する方法 で Teams に展開します。Discussions、従来のボード、Viva Engage、Teams チャネルのどれを選ぶか検討中の場合は、KB10394. Discussions、クラシック SharePoint ディスカッション掲示板、Viva Engage、Teams チャネル: どれを選ぶか をお読みください。

製品の詳細: *https://vitextra.com/ja/products/discussions*

用語

Microsoft 365
Microsoft 365 は、Word、Excel、PowerPoint、Outlook などの生産性アプリと、SharePoint、OneDrive、Teams、Exchange Online などのクラウド サービスを、高度なセキュリティおよびデバイス管理と組み合わせた、クラウドベースのサブスクリプション サービスです。

Microsoft Graph
Microsoft Graph は、Microsoft Entra ID (旧称 Azure Active Directory) と OAuth 2.0 で保護された REST API です。SharePoint、Outlook、OneDrive、Teams など、Microsoft 365 のデータやサービスにアクセスするための単一のエンドポイントを提供します。

Microsoft Teams
Microsoft Teams は、オンライン会議、ライブ イベント、ドキュメント共有の機能を備えた、ビジネス コミュニケーション向けのチャット ベースのコラボレーション プラットフォームです。

Power Automate
Microsoft Power Automate は、ユーザーがアプリケーションとサービス間の自動化されたワークフローを作成できる、クラウドベースのサービスです。高度なコーディングの知識がなくても、データ収集、通知、承認などの反復的なタスクやプロセスを自動化できます。

SharePoint
SharePoint は、コンテンツ管理、ドキュメント管理、ワークフロー アプリケーション、検索、その他のツールを提供する Web ベースのコラボレーション プラットフォームで、従業員やチームが共同で作業できるようにします。SharePoint は、共有情報を保存、整理、アクセスするための安全な場所でもあります。

SharePoint Framework (SPFx)
SharePoint Framework (SPFx) は、SharePoint Online、SharePoint Server (オンプレミス)、Microsoft Teams 向けのクライアント側 Web パーツ、コンポーネント、拡張機能を構築するためのモデルです。SPFx のカスタマイズは JavaScript に基づいてお

り、モダン ユーザー インターフェースをネイティブでサポートします。

SharePoint Online
SharePoint のクラウド版で、Microsoft 365 内の Web ベースのコラボレーション プラットフォームです。組織のデジタル情報、コンテンツ、ナレッジを保存、共有、管理するための幅広い機能を提供します。

Web パーツ
Web パーツは、SharePoint ページに配置される機能やコンテンツの主要な構成要素です。Web パーツの中には、Web パーツの構成や外観の変更など、カスタマイズをサポートするものがあります。

サイト
SharePoint サイトは、SharePoint プラットフォーム内の情報のコンテナーです。サイトには通常、ドキュメント ライブラリ、リスト、予定表、ディスカッション ボード、ワークフローなどの機能があり、チーム内または部門間でのコラボレーション、コミュニケーション、ドキュメント管理を促進します。サイトは、組織の特定のニーズやワークフローに合わせてカスタマイズおよび構成できます。

ビュー
ビューは、リストまたはライブラリのどのアイテムをどのように表示するか (列、並べ替え、フィルター処理、グループ化、レイアウトを含む) を決定する、保存された構成です。ビューには、個人用ビューと公開ビューがあります。